

異文化交流で友好深める

中学生ら24人がバス市でホームステイ



レページ州知事（後列中央）を表敬訪問。知事公邸にて記念撮影

姉妹都市米国メイン州バス市への訪問団（成田悦雄団長）が8月6日から16日まで11日間の日程で訪米し、友好を深めました。今年の訪問団は中学生17人、高校生1人、引率6人計24人。最初は不安を抱えていた団員の皆さんでしたが、ホストファミリーとコミュニケーションが進むと積極的に会話をするようになり、異国の文化についての理解と絆を深め、たくさんの思い出をつくってきました。



カヤック体験で大自然を満喫



バス市役所で行われた歓迎会



折り紙作りでバス市の子どもたちと文化交流



さよならパーティでホストファミリーと記念撮影



（左から）ポールズ市議会議員、成田団長、ワイマン市長、エオスコ副市長



メイン州庁舎の上院議会議場を見学



パインランドファーム（農場）で乳牛と触れ合う

「バス市訪問を終えて」

団長 成田 悦雄



今回のバス市訪問では、参加者全員が元気で何らトラブルもなく無事帰国できたことが何よりうれしいことです。現地での子どもたちは、それぞれのホストファミリーと楽しそうに行動していて、非常に順応性があると感じました。

今回のバス市訪問は私にとって3回目、20年ぶり。美しい自然、親切な人々は相変わらずすばらしく、ただ変わったと思われたのはバス市役所周辺の商店街の賑わい。20年前は商店街の活気が感じられませんでした。今回の訪問では、きれいな町並み、洒落た店、行き来する買い物客など以前とは活気が違うと感じました。話を聞くと、今年つがる市にきたバス市副市長のエオスコさんがチームリーダーを務めるプロジェクトチームが中心となって商店街の活性化に努力したとのこと。街づくりの参考になるのではと思いました。

ホームステイではホストファミリーのスミス夫妻に大変お世話になりました。「おもてなし」という言葉がアメリカから生まれたのではと思うほど、すばらしい「おもてなし」を受けました。挨拶はコミュニケーションの始まりと言いますが、今回それを実感しました。毎日が楽しく、充実していました。関係者の皆様に感謝、感謝です。

バス市訪問団員の声

団員は、言葉も文化も違う異国でホストファミリーとの生活や触れ合いを重ねながら心を通わせ、異文化に理解を深めました。今回参加した団員の声を紹介します。

「文化の違いおもしろい」 工藤 怜香 (明の星高校1年)



ホームステイを通して、ボディランゲージの重要性を感じました。ボディランゲージを使うことである程度伝えたいことを相手に汲み取ってもらい、コミュニケーションを図れました。英語が多少通じなくても「相手とコミュニケーションを取ろう」「相手を理解しよう」という気持ちがあれば、いくらでも親睦を深められることを身をもって知りました。また、同じ時間を他の国の人と共有する楽しさも感じました。国によって文化、風習、価値観の違いはあります。しかし、うれしい、楽しいなどの感情はどの国も同じだと感じました。文化の違いもおもしろいと思わせるような体験をしたことで、自分の知らない世界に行き、もっと視野を広げたいと思うきっかけになりました。

「アメリカの思い出」

成田 優瞳 (森田中2年)



バス市に行く前、家族と離れて何日も違う国で過ごすなんて想像もできず不安でした。バス市に着き、いよいよホストファミリーとの面会。怖い人だったらどうしようかと不安でしたが、ホストファミリーは優しい3人でした。歳の近い娘さんもいて、いろいろな話もできてうれしかったです。

ホストファミリーデーは想像以上に楽しかったです。動物園やショッピング、海に連れて行ってもらい、ホストファミリーと楽しむことができて良かったです。行く前はあんなに不安だったのに、他校の友達もでき、寂しくもなく、アメリカに行つて自分の器も広がった気がします。

「忘れられない大切な思い出」 高橋 潤平 (柏中2年)



僕は、英語が苦手だったので、この機会に英語を好きになりたいと思って参加しました。バス市に行つてホストファミリーが初対面の僕たちをあたたかく迎えてくれました。ホストファミリーデーにはメイン州の特産物であるロブスターを船で一緒にとりに行き、新鮮なロブスターを味わいとてもおいしかったです。最後の日にホストマザーがホームステイ中の僕らの写真をプリントしたTシャツをプレゼントしてくれて感激しました。振り返ってみると、英語の良さや必要さを改めて知りました。英語に興味をわいたので、これから英語の授業をがんばりたいです。今回の経験は僕にとってかけがえのない一生の宝物となりました。

「気持ちを伝える大切さ」

小寺 実茄 (車力中3年)



バス市に着いて、初日は会話が成立せずに、これから毎日このままだと楽しくないだろうし、早く家に帰りたと思っていました。でも次の日から会話が少しずつできるようになりました。それが一番この訪問でうれしかったし、コミュニケーションの大切さを学びました。

ホストファミリーデーには買い物や海に連れて行ってもらい、船にも乗せてもらいました。海は透き通っていて暖かく、いい思い出になりました。今回の訪問を通してアメリカの文化を学び、英会話が前よりできるようになり、とても良い経験をすることができました。

「感謝」

江良 早織 (木造中2年)



初めての経験や驚きがたくさんありました。初日のニューヨークのホテルでは考えられないほどの分厚くて大きいステーキ。華やかなニューヨークの街にも感激しました。メイン州は自然がものすごく豊かでホームステイの家の近くにもリスなどの動物がいました。大自然の中でのカヤック体験も気持ち良かったです。子どもたちに折り紙を教える企画では、大変なこともありましたが、作ってあげて、子どもたちが笑顔で遊んでくれた時は、うれしく思いました。アメリカの良さを知るうちにもっといたいと思いました。また海外に行くときには今回体験したことを踏まえていろいろな国に行きたいです。